

小児がん拠点病院・小児がん診療病院 情報公開について

平成 31 年 1 月 18 日

1. 情報公開依頼と提出状況

平成 30 年 7 月 27 日に各ブロック代表者に依頼し、12 月 28 日までに 140 施設よりご提出いただいた。全体の提出率は前年の「147 施設中 127 施設 86.4%」から「146 施設中 140 施設 95.9%」に向上した。各ブロックの提出状況は以下の通りである。

地域	ブロック 全施設数	うち提出済	うち未提出
北海道	6	6	0
東北	10	9	1
関東	40	38	2
東海北陸	22	21	1
近畿	31	29	2
中四国	18	18	0
九州・沖縄	19	19	0
合計	146	140	6

2. ホームページへの掲載について

各施設の情報は平成 30 年 12 月 17 日(月)に、昨年と同様に国立成育医療研究センターホームページにおいて公開した。「成育トップページ」>「主な取り組み」>「小児がんセンター(小児がん拠点病院・中央機関)」、「全国の小児がん診療施設の情報」ページ

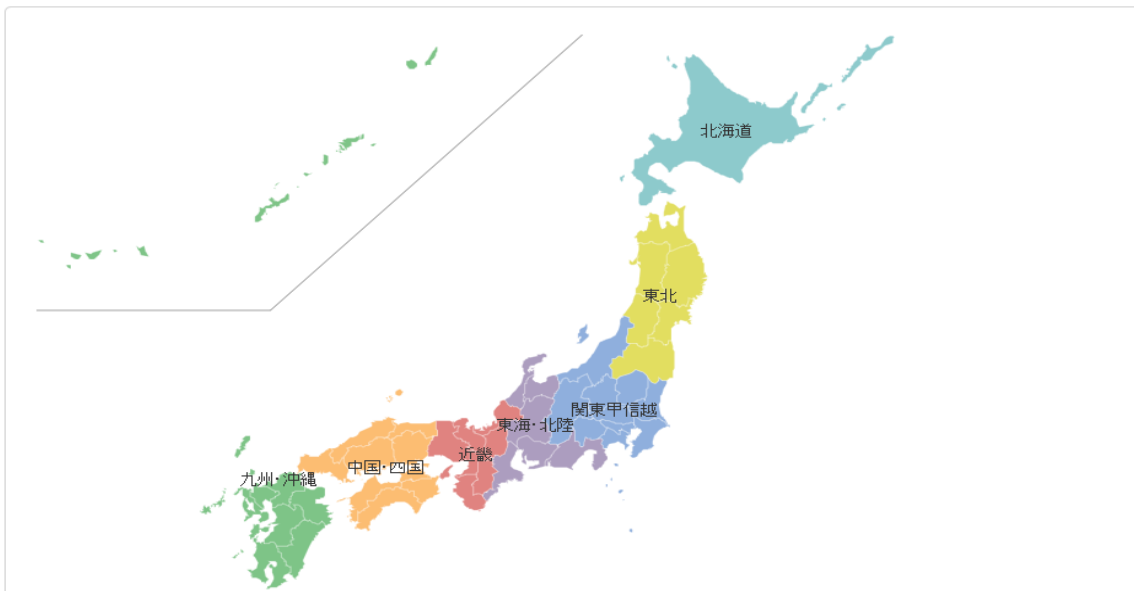
情報公開について

各診療実績の説明につきましては、[こちら](#) をご覧ください。

お探しの地域を地図上よりクリックしてください。選択した地域の一覧がご覧いただけます。一覧の施設名をクリックすると、その施設の情報公開のPDFファイルが開きます。(全2ページです) 施設一覧の★マークは小児がん拠点病院に指定されている施設です。

スマートフォン等で地図が表示されない場合は、下記のリンクよりご覧ください。

▶ [北海道](#) ▶ [東北](#) ▶ [関東甲信越](#) ▶ [東海・北陸](#) ▶ [近畿](#) ▶ [中国・四国](#) ▶ [九州・沖縄](#)



また、国立がん研究センターがん情報サービスのページにもリンクをはっていただいた。

がん情報サービス ganjocho.jp 病院を探す 「病院を探す」の使い方 お問い合わせ 検索

がん診療連携拠点病院 がん相談支援センター 小児がん拠点病院 緩和ケア病棟のある病院 希少がん情報公開専門病院

TOP > 小児がん拠点病院を探す

小児がん拠点病院を探す

更新日：2018/09/27 掲載日：2013/03/29

国が指定した、全国に15施設ある小児がん拠点病院の情報を記載しています。

掲載している情報は、2017年10月に厚生労働省に提出された「新規指定・指定更新推薦書」または「現況報告書」をもとに作成しております。各病院のご協力を得て、随時、情報を更新しておりますが、現状と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

国立がん研究センターと共に、国に「小児がん中央機関」として指定されている国立成育医療研究センターでも、小児がん診療施設についての情報を公開しています（2017年1月1日時点の情報）。

国立成育医療研究センター 小児がんセンター [全国の小児がん診療施設の情報](#)

3. 集計結果について

①診療実績（初発・再発）の定義について

がんについては院内がん登録の症例を参考に、下記の表の通り各施設で集計していただいた。

院内がん登録症例区分		<症例区分について>
初発	20、21、30、31 40のうち初回治療終了後の増悪初発症例 40のうち前医で初回治療が経過観察だった初発症例（紹介時に腫瘍は残存）	
再発	40のうち再発症例（疑い含む）として紹介され、再発として治療対象となった症例	30.他施設診断・自施設初回治療開始 31.他施設診断・自施設初回治療継続
対象外	40のうちフォローアップ目的で紹介された症例	40.初回治療終了後（再発症例やフォローアップなど）

初発・再発ともに施設間で重複する症例も含まれている。再発（紹介患者のみ）の小児がん治療実績件数は、全都道府県規模のものとしては日本でこの情報公開だけが公表しているものと思われる。

②初発・再発別件数について

初発については全疾患の総数 2015年 2,886件、2016年 2,805件、2017年 3,000件 となった。

再発については全疾患の総数 2015年 360件、2016年 356件、2017年 279件 となった。

③疾患割合について

症例数・疾患割合を以下の表とグラフに示す。

※再発例は「その年自施設に初めて紹介された再発症例で、自施設で治療を行ったもの」をカウントしており、自施設再発などは含まれない。そのため、「再発で他施設に紹介されやすい疾患（ALL の骨髄移植目的など）」が件数として多くなっている可能性がある。

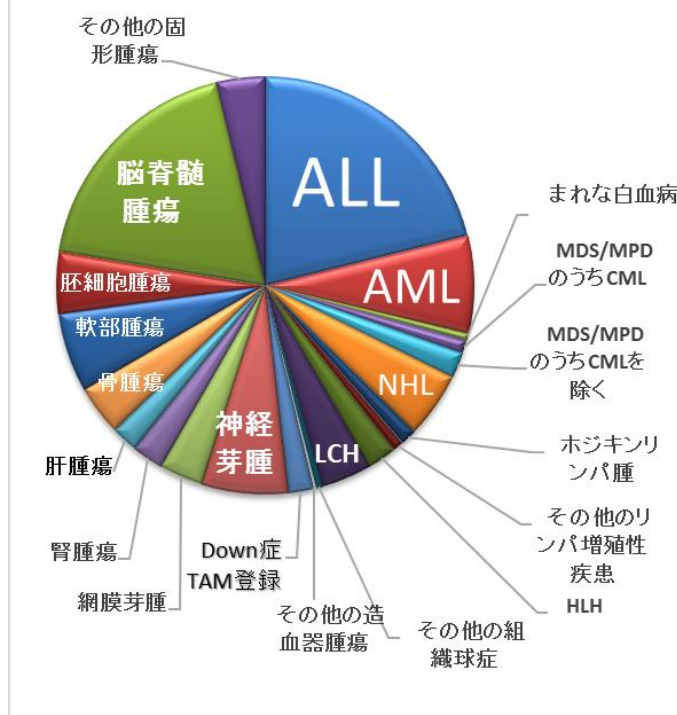
2015 年初発症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	1392	48.2%
ALL	610	21.1%
AML	217	7.5%
まれな白血病	16	0.6%
MDS/MPDのうちCML	30	1.0%
MDS/MPDのうちCMLを除く	58	2.0%
NHL	146	5.1%
ホジキンリンパ腫	36	1.2%
その他のリンパ増殖性疾患	23	0.8%
HLH	66	2.3%
LCH	113	3.9%
その他の組織球症	15	0.5%
その他の造血器腫瘍	6	0.2%
Down症TAM登録	56	1.9%
固形腫瘍	1494	51.8%
神経芽腫	193	6.7%
網膜芽腫	98	3.4%
腎腫瘍	71	2.5%
肝腫瘍	59	2.0%
骨腫瘍	113	3.9%
軟部腫瘍	177	6.1%
胚細胞腫瘍	137	4.7%
脳脊髄腫瘍	538	18.6%
その他の固形腫瘍	108	3.7%
総計	2886	100%

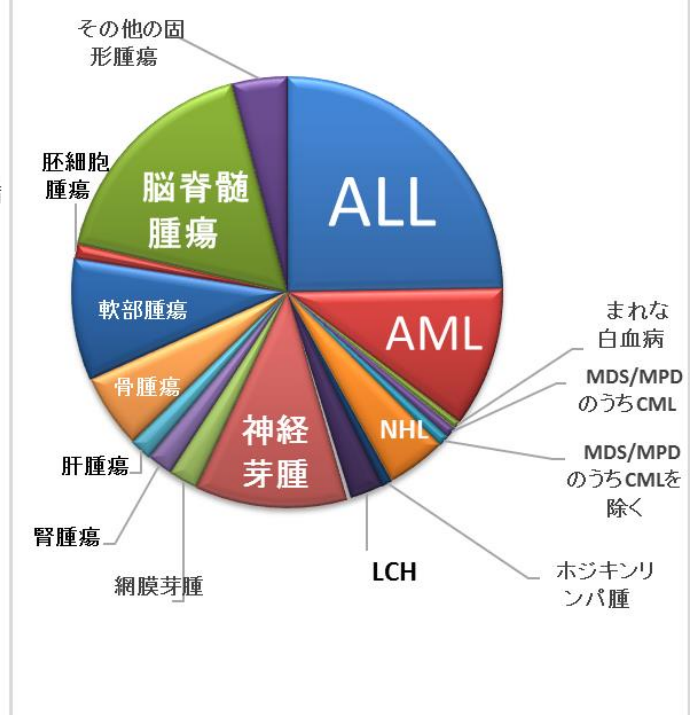
2015 再発(紹介例のみ)症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	164	45.6%
ALL	89	24.7%
AML	38	10.6%
まれな白血病	2	0.6%
MDS/MPDのうちCML	3	0.8%
MDS/MPDのうちCMLを除く	3	0.8%
NHL	16	4.4%
ホジキンリンパ腫	3	0.8%
その他のリンパ増殖性疾患	0	0.0%
HLH	0	0.0%
LCH	9	2.5%
その他の組織球症	1	0.3%
その他の造血器腫瘍	0	0.0%
Down症TAM登録	0	0.0%
固形腫瘍	196	54.4%
神経芽腫	41	11.4%
網膜芽腫	8	2.2%
腎腫瘍	7	1.9%
肝腫瘍	6	1.7%
骨腫瘍	20	5.6%
軟部腫瘍	33	9.2%
胚細胞腫瘍	4	1.1%
脳脊髄腫瘍	62	17.2%
その他の固形腫瘍	15	4.2%
総計	360	100%

2015年 初発症例数



2015年 再発症例数



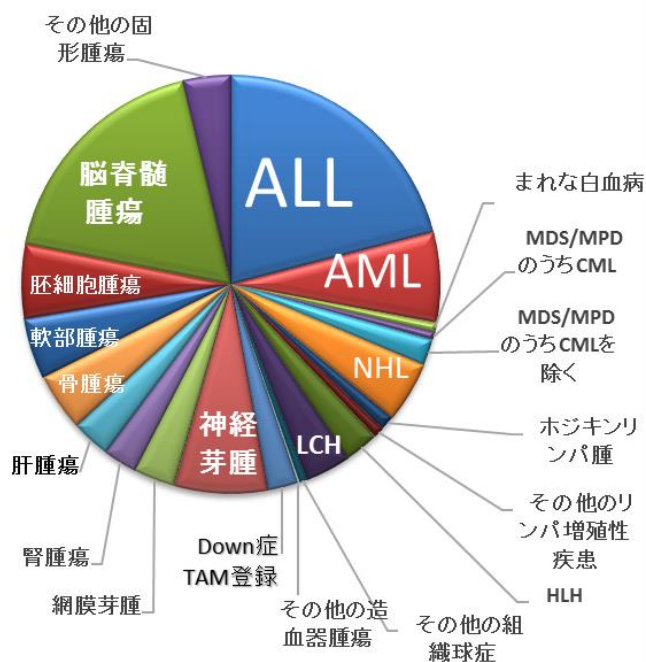
2016年初発症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	1323	47.2%
ALL	588	21.0%
AML	195	7.0%
まれな白血病	21	0.7%
MDS/MPDのうちCML	17	0.6%
MDS/MPDのうちCMLを除く	57	2.0%
NHL	131	4.7%
ホジキンリンパ腫	31	1.1%
その他のリンパ増殖性疾患	23	0.8%
HLH	74	2.6%
LCH	99	3.5%
その他の組織球症	17	0.6%
その他の造血器腫瘍	5	0.2%
Down症TAM登録	65	2.3%
固形腫瘍	1482	52.8%
神経芽腫	202	7.2%
網膜芽腫	90	3.2%
腎腫瘍	74	2.6%
肝腫瘍	84	3.0%
骨腫瘍	126	4.5%
軟部腫瘍	131	4.7%
胚細胞腫瘍	161	5.7%
脳脊髄腫瘍	511	18.2%
その他の固形腫瘍	103	3.7%
総計	2805	100%

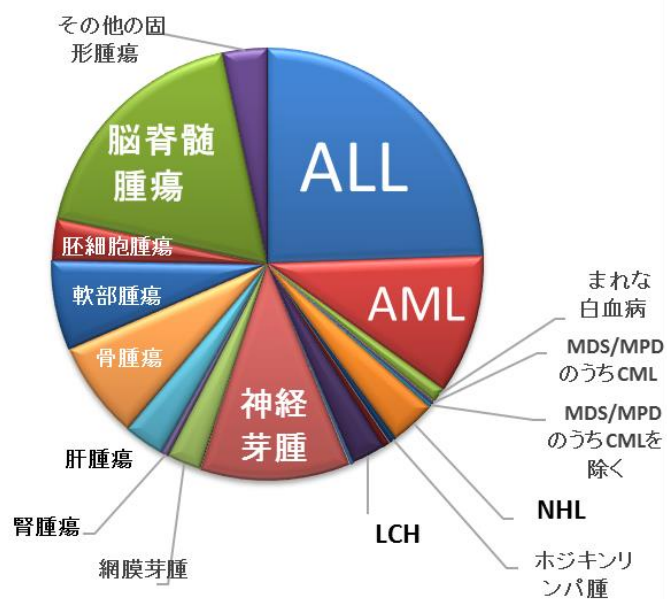
2016年再発(紹介例のみ)症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	156	43.8%
ALL	87	24.4%
AML	37	10.4%
まれな白血病	4	1.1%
MDS/MPDのうちCML	1	0.3%
MDS/MPDのうちCMLを除く	1	0.3%
NHL	12	3.4%
ホジキンリンパ腫	2	0.6%
その他のリンパ増殖性疾患	2	0.6%
HLH	0	0.0%
LCH	9	2.5%
その他の組織球症	0	0.0%
その他の造血器腫瘍	0	0.0%
Down症TAM登録	1	0.3%
固形腫瘍	200	56.2%
神経芽腫	40	11.2%
網膜芽腫	9	2.5%
腎腫瘍	2	0.6%
肝腫瘍	11	3.1%
骨腫瘍	26	7.3%
軟部腫瘍	24	6.7%
胚細胞腫瘍	11	3.1%
脳脊髄腫瘍	65	18.3%
その他の固形腫瘍	12	3.4%
総計	356	100%

2016年 初発症例数



2016年 再発症例数



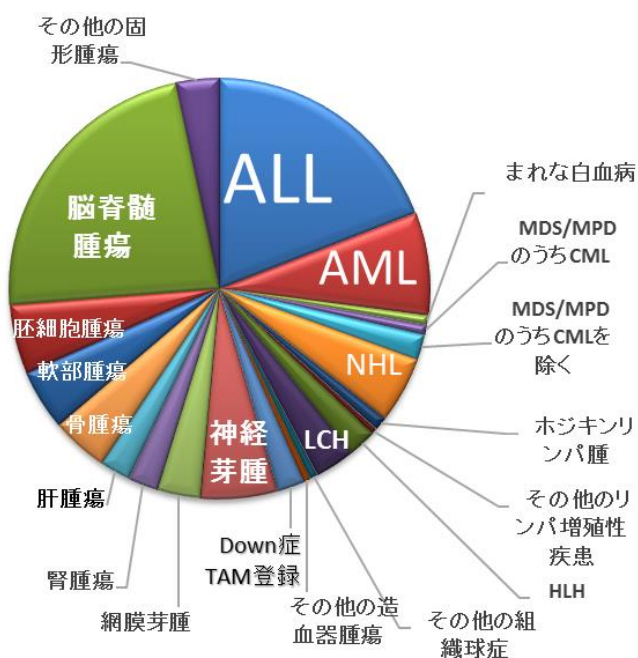
2017年初発症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	1366	45.5%
ALL	574	19.1%
AML	237	7.9%
まれな白血病	21	0.7%
MDS/MPDのうちCML	23	0.8%
MDS/MPDのうちCMLを除く	60	2.0%
NHL	153	5.1%
ホジキンリンパ腫	31	1.0%
その他のリンパ増殖性疾患	13	0.4%
HLH	65	2.2%
LCH	92	3.1%
その他の組織球症	18	0.6%
その他の造血器腫瘍	16	0.5%
Down症TAM登録	63	2.1%
固形腫瘍	1634	54.5%
神経芽腫	177	5.9%
網膜芽腫	100	3.3%
腎腫瘍	69	2.3%
肝腫瘍	71	2.4%
骨腫瘍	131	4.4%
軟部腫瘍	140	4.7%
胚細胞腫瘍	159	5.3%
脳脊髄腫瘍	688	22.9%
その他の固形腫瘍	99	3.3%
総計	3000	100%

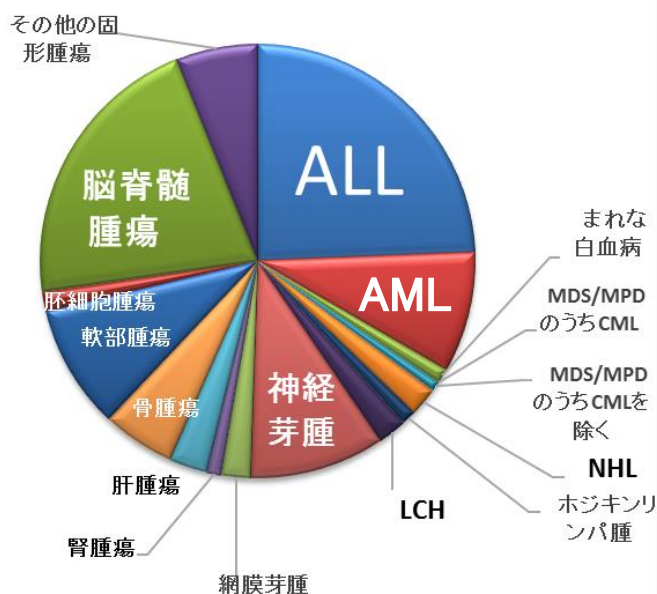
2017年再発(紹介例のみ)症例 件数と疾患割合

造血器腫瘍	113	40.5%
ALL	68	24.4%
AML	25	9.0%
まれな白血病	3	1.1%
MDS/MPDのうちCML	0	0.0%
MDS/MPDのうちCMLを除く	2	0.7%
NHL	6	2.2%
ホジキンリンパ腫	3	1.1%
その他のリンパ増殖性疾患	0	0.0%
HLH	0	0.0%
LCH	6	2.2%
その他の組織球症	0	0.0%
その他の造血器腫瘍	0	0.0%
Down症TAM登録	0	0.0%
固形腫瘍	166	59.5%
神経芽腫	28	10.0%
網膜芽腫	6	2.2%
腎腫瘍	3	1.1%
肝腫瘍	8	2.9%
骨腫瘍	15	5.4%
軟部腫瘍	26	9.3%
胚細胞腫瘍	4	1.4%
脳脊髄腫瘍	59	21.1%
その他の固形腫瘍	17	6.1%
総計	279	100%

2017年 初発症例数



2017年 再発症例数

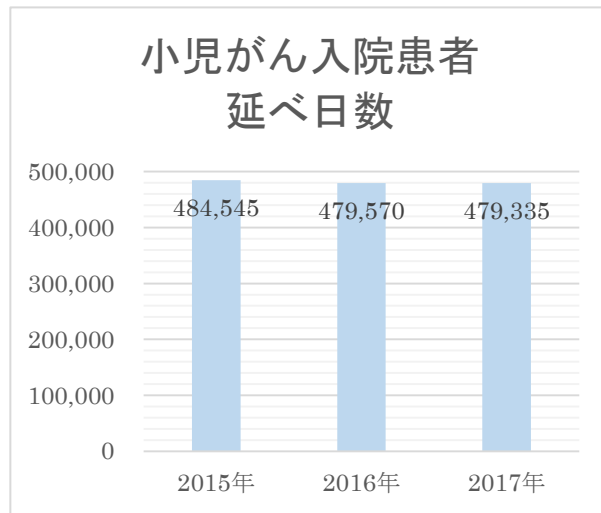


③小児がん患者入院延べ数と入院延べ日数について

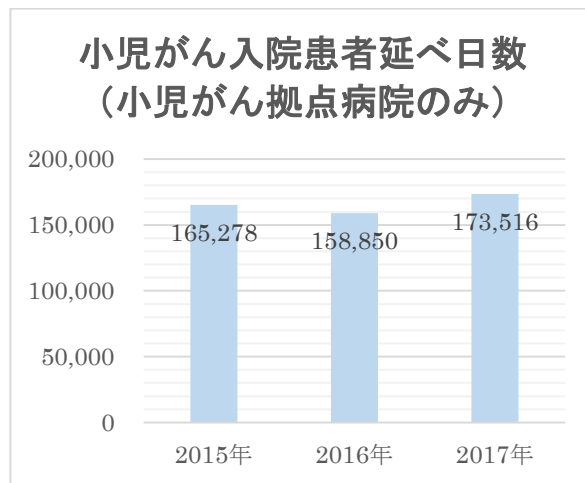
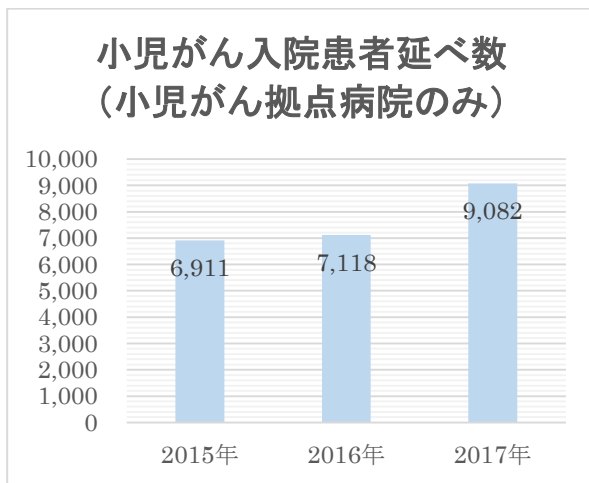
小児がん患者入院延べ数と入院延べ日数については、下に示す通りとなった。ただし、小児がん患者入院延べ数・入院延べ日数の記載のない施設や1年分あるいは2年分を記載している施設、小児がん患者入院延べ数のみ記載している施設、対象患者のいない20施設は除外した。

入院患者延べ数が増え入院患者延べ日数が若干減っている背景には、前回同様に可能性として①軽症の症例の補足率が上がった、②入院が短期入院の傾向になったなどが考えられた。

<全体>



<小児がん拠点病院のみ>



小児がん患者入院延べ数・延べ日数	★北海道大学病院	★東北大学病院	★埼玉県立小児医療センター	★国立成育医療研究センター	★東京都立小児総合医療センター	★神奈川県立こども医療センター	★名古屋大学医学部附属病院	★三重大学医学部附属病院	★京都府立医科大学附属病院	★京都大学医学部附属病院	★大阪市立総合医療センター	★大阪府立母子保健総合医療センター	★兵庫県立こども病院	★広島大学病院	★九州大学病院
小児がん患者入院延べ数															
2015	152	170	1,160	689	433	634	742	113	178	291	711	491	640	176	331
2016	172	155	713	766	539	584	767	110	235	296	1,139	324	661	188	469
2017	155	101	1,669	869	786	589	736	121	198	284	1,028	435	910	470	731
小児がん患者入院延べ日数															
2015	5,726	8,328	20,744	13,736	11,472	16,313	19,985	4,329	6,239	7,056	10,476	9,945	11,735	11,331	7,863
2016	5,466	3,861	13,487	15,395	12,127	18,656	17,234	4,264	9,011	8,301	13,735	7,882	10,408	9,688	9,335
2017	5,883	3,861	23,821	17,943	13,196	18,653	17,580	4,736	5,237	7,763	10,626	8,653	14,593	9,816	11,155

4. 今後の予定について

情報公開の様式について、「専門資格保持者」を記入する箇所があるが、小児がん拠点病院の新規指定申請書と共通した資格にしたいと考えている。

また、診療実績(初発・再発)では、疾患の分類がしやすいよう参考資料を作成し全体に配布する予定である。(今回行ったデータクリーニングで院内がん登録対象外の疾患の記載や「松果体腫瘍」を「その他の固形腫瘍」に分類している例などがあり、統一した定義で集計が行えるようにするため)